

岸和田市胃がん検診（胃内視鏡検査）対象者チェックリスト

1 下記の□の項目に全て該当する場合、胃内視鏡検診の対象者となります。

岸和田市の住民基本台帳に記載がある。

検診日当日 50 歳以上の偶数年齢で、胃がん検診（胃内視鏡検査）の受診の間隔が2年に1回。

※年齢は、誕生日の前日に加算。例）誕生日が6月2日で50歳の場合、6月1日で50歳と換算。

当該年度内に胃がん検診*を受診していない。

※胃がん検診（保健センターでの胃部エックス線検査、もしくは市内実施医療機関での胃内視鏡検査）。

同一年齢での胃がん検診（胃内視鏡検査）を市内実施医療機関において受診していない。

※年度が違っていても、同一年齢での受診はできません。

※後日、重複受診が判明した場合、市の検診としての取り扱いができません。胃内視鏡検査を受診した医療機関に自費で検診料金をお支払いいただきます。ご了承ください。

2 下記の□の項目に1つでも該当する場合は、胃内視鏡検診は対象外となります。

胃疾患（胃がん、胃がん以外の胃疾患）治療中、もしくは経過観察中で、定期的に胃内視鏡検査（保険診療分）を受けている。

胃に関する自覚症状（嘔気、嘔吐、気分不良、むかつき、胃のもたれ等）がある。※ある場合は保険診療

胃全摘出術後。

ピロリ菌除菌中である（ピロリ菌除菌後は可能）。

抗血栓薬服用中である（抗血小板薬（アスピリン・チエノピリジン誘導体等）、抗凝固剤（ワルファリン・ヘパリン・ダビガトラン等）等抗血栓薬のすべて）。

麻酔や薬剤アレルギーがある・・・抜歯時の麻酔で気分が悪くなる等なかったかどうか。

妊娠中、もしくはその疑いがある人。

疾患の種類にかかわらず、入院中の人。

咽頭、鼻腔等に重篤な疾患があり、内視鏡の挿入ができない人。

呼吸不全のある人。

急性心筋梗塞や重篤な不整脈などの疾患のある人。

明らかな出血傾向またはその疑いのある人。

全身状態が悪く、胃内視鏡検査に耐えられないと判断した人。

※治療中の病気がある人は、主治医に胃内視鏡検査を受診して良いか、必ず確認してください。